

あったか加東冬のまつり2013

「あったか加東冬のまつり2013」(加東市商工会主催)が2月10日、市役所滝野庁舎周辺などで行われ、県内のほか奈良県や京都府などからの来場者約1万人でにぎわいました。



「山田錦のふるさと」加東の魅力を再発見できた一日でした。



この祭りの始まりは、平成10年2月に開かれた「しほりたての宴滝野蔵まつり」。市内には、明治時代創業の神結酒造(株)と高徳銘醸(株)の2つの造り酒屋があり、地元の人々から愛され、毎年、できたての新酒を味わうために集まっています。しかし、「地元で熟成されたおいしい酒を、一人でも多くの人に知ってもらおう」と企画されました。

その後、平成15年から「あったか滝野(加東)冬のまつり」と名前を変え、近隣では珍しい冬季のまつりとして定着。「あったか(暖か)を「有ったか?」に掛け合わせ、幅広い年代の方々に、さまざまな加東の冬の魅力を再認識していただく機会として、毎年開催されています。

祭りは、市役所滝野庁舎前での鏡開きで開幕。引き続き和太鼓演奏が行われ、会場を盛り上げました。蔵まつりは両酒蔵で行われ、来場者は、普段なかなか見る機会のない蔵を見学後、しほりたての原酒を試飲し、ここでしか味わえない新酒を品定め。また、ラジオパーソナリティーの谷五郎さんを迎えての利き酒大会やトークショー、クイズ大会のほか、もちつき大会、うどんやおでん、焼き鳥などの販売もあり、お気に入りの日本酒をゆっくりと味わう姿が数多く見られました。

踊り会場では、滝野地域の小・中学生による模擬店や市内特産品の販売、山田錦のPR展示、お楽しみ抽選会、東日本応援「絆」復興市など多彩なイベントが



①しほりたての新酒を試飲した来場者からは歓声。②酒蔵を見学し、日本酒ができるまでを学ぶ来場者ら。③谷五郎さんを交えての利き酒大会。ほろ酔い気分にも進む。④鏡開きにも加東の地酒が用いられました。⑤蔵まつり会場での餅つき大会。でき上がった餅は来場者らに振る舞われました。⑥⑦和太鼓演奏やよさこい踊りに、会場は大いに盛り上がりしました。

催されました。また、県内の20チームによるよさこい踊り大会も行われ、華麗なダンスで祭り気分を盛り上げてくれました。

このほか、認知症高齢者への声かけ体験をする「ひとり外出見守り声かけ体験ウォーキング」も行われ、多くの関心を集めました。

酒米の最高峰といわれる「山田錦」は、県内産が全国出荷量の4分の3を占め

ます。そして、その約9割が北播磨地域で生産されています。

「山田錦のふるさと」加東市で酒蔵を営み、全国新酒鑑評会の金賞を神結酒造(株)は8回、高徳銘醸(株)は5回受賞しているとあって、奈良県から来たという男性は「インターネットで調べていた念願の酒が入手できました」と笑顔で話してくれ

イベントに出かけよう!

春から初夏にかけて、市内ではさまざまな行事・イベントが開催されます。みなさま、ぜひお越しください。

①播磨中央公園さくらまつり
 期間 4月6日(土)~14日(日)
 場所 県立播磨中央公園 桜の園
 内容 夜桜ちょうちんの点灯、露店の出店(いずれも18:00~21:00、雨天中止)

②やしろ鴨川の郷花まつり
 日時 4月14日(日) 9:00~16:00
 場所 やしろ鴨川の郷
 内容 ニジマスつり大会、太極拳の実演、餅まきなど

③鴨川桜まつり
 日時 4月21日(日) 10:00~15:00
 場所 播州清水寺
 内容 太鼓やコーラス、銭太鼓の演奏、演芸歌謡ショー、お茶席、餅まきなど

④日本一早い鮎漁解禁
 かつて姫路の殿様に初物を献上した習慣や、旧暦4月8日の光明寺の花まつりに興をそえるためであったようです。8:00ごろから稚鮎の放流が行われ、解禁を待ちわびた多くの釣り人が集まります。

開催日 5月1日(水) 場所 加古川闘竜灘

⑤花まつり鮎まつり
 開催日 5月3日(祝)
 場所 ○花まつり 五峰山光明寺
 ○鮎まつり 加古川闘竜灘

内容
 ○花まつり
 甘茶接待、重要文化財「銅造如来坐像」と日本一幅善導大師自画像の公開、虚無僧行列など
 ○鮎まつり
 稚鮎の放流体験、ステージイベント、露店、花火大会など



闘竜灘での花火大会

問い合わせ
 ①播磨中央公園管理事務所 ☎48-5289
 ②やしろ鴨川の郷 ☎45-0111
 ③~⑤加東市観光協会 ☎47-1304